

掲載リスト

- ・福岡 2024 忘年会 [・小西さん朔君の写真展を訪問](#)
- ・本嶋君（3 年 5 組）からの投稿 大宰府 [・朔君からのお知らせ：写真展](#)
- ・21 回生大活躍！青木さん（卓球） [・筑紫丘高校同窓会定期総会](#)
- ・なぜ「福岡市」は都市として勢いが残っているのか
- ・2024 牡蠣小屋 [・増田君写真受賞](#) [・木村君書展](#)
- ・増田君の写真展と久しぶりの邂逅 [・21 回生忘年会（令和 4 年 12 月 2 日福岡）追加写真](#)
- ・2023 牡蠣小屋 ・

福岡 2024 忘年会

令和 6 年 1 2 月 1 6 日（月） 1 7 時より、平尾の居酒屋で 2 0 名の参加で忘年会が開催されました。

テーブルとカウンターに分かれて、それぞれが楽しい時間を過ごしました。

【参加者】大浦、小西（旧：蓮尾）、田所、稲永、谷口（健）、森實、阿部、木村（政）、朔、松浦、
行實、高木（達）、中村（純）、瀬戸口、本吉、服部、久野（長野）、浦山、関（代理出席で奥様と次男様）



大浦会長の挨拶で始まりました。その後、中村（純）による既存 21 回生 HP と新規 21 回生 HP の話や和歌山の青木（大串さん）からの差し入れの報告がありました。乾杯後、それぞれが自己紹介して 18 歳以来の約 55 年の時間の空白を埋めました。





50 年間担ってきた服部同窓会総会幹事に代わって、田所さんが本年より同窓会総会幹事に就任しました。

快くお引き受け頂いた田所さんには大変感謝です。そして今回、同窓会総会事務局から 21 回生同窓会開催について 1 万円の祝い金が出ました。よって、くじを実施して当選者に手土産が出ました。

当選者：1 等→浦山、2 等→木村・森實・小西、3 等→阿部・服部・関



楽しい時間もあっという間で、お開きになりました。青山さんから送って頂いたミカンが皆の手土産になりました。

その袋には「福岡県立筑紫丘高等学校 創立 100 周年記念事業の募金のお願い」パンフレットが入っていました。100 年記念事業の理事長は森田（タモリ）さんです。100 周年記念でも 21 回生の皆様と、是非ともお会いしたいですね。



23 便の筑志会 忘年会にも負けずに、盛大な忘年会！懐かしい顔ぶれが見れて、我が 21 回生の健在ぶりを示してくれたね。

そうか、筑高 100 周年か！ 歴史ある高校の卒業生で、良かったよ！

来年も、皆元気で、ご自愛して、再び元気な顔を見せて欲しいな。

21 回生も、100 周年記念で、故郷での何かイベントも良いかも知れないな、今後 段々と 頻繁に会える機会の

少なくなってくるだろうから。

歳は老いても、気持ちまで老いるなよ！

[ページトップへ](#)

小西さん、朔君の写真展を訪問

この記事は、編者が小西さん、読者に謝らねばならない。

もっと早く 小西さんから投稿されていたのに、編者がすっかり忘れていた。

歳のせいにはしたくないが、小西さん 朔君 ごめんなさい。





編者：このような自然の生き物を撮るのは難しいだろうな。

しかしその一瞬が「美」になっている。素晴らしい。

朔君には、まだまだ撮り続けて欲しいな。

[ページトップへ](#)

第 21 便

本嶋君(3年5組)からの投稿 大宰府

本嶋君は 現在「くすのき会」という、大宰府の歴史、史跡を紹介する

ボランティア団体の会長として日々頑張っているそうだ。

初めて写真を投稿してくれた。以下、紹介します。

日、同市で、市戦いたⅡ写市内の軍は331の頓田の月27日、によつてつた児童などによ数は不明

太宰府市を拠点とする大宰府史跡解説員の親睦団体「くすのき会」(本嶋久義会長、63人)が国際ソロプチミスト太宰府(穂吉ひろみ会長)から本年度の社会ボランティア賞を受けた。くすのき会メンバーは公益財



社会ボランティア賞の賞状を持つくすのき会の本嶋久義会長(右)

「くすのき会」に社会ボランティア賞

ソロプチミスト太宰府 古都の歴史伝える

団法人古都大宰府保存協会から委嘱を受け、ボランティアで国内外からの来訪者に古里の歴史と魅力を伝える活動を展開。一方で、地元の水城小や国分小と連携して同協会とともに児童らの地域への関心を高める「子ども解説員」事業もサポートしてきた。本嶋会長は「昨年度が25周年だった当会の活動が認められ、うれしい。これを励みにより多くの人に太宰府を伝えていきたい」と語った。表彰式は8月に筑紫野市であり、災害ボランティア団体のNPO法人「日本九援隊」(大野城市)が災害復興援助賞を受けた。(南里義則)

写真 は 10 月 4 日 西 日 本 新 聞 都 市 圏 版 に 掲 載 さ れ た も の で す。

こ の よ う に 元 気 に や っ て い ま す。

隣 の 女 性 は ソ ロ プ チ ミ ス ト 太 宰 府 の 方 で す。

編者：彼は太宰府に住んでいるけど、ボランティアとはいえ、これだけ地元の

「文化」に関わり、忙しい毎日を送っているそう。

我々にも励みになる。



▲古代の役所「太宰府」があった太宰府政庁跡

奈良・平安時代の「だざいふ」には古代の役所「太宰府」があり、政治、行政、外交、防衛、文化、交易などの中心として栄えていました。こうした歴史から本市は「元号令和の発祥の地」となりましたが、平安時代に千年の時を超えるベストセラー『源氏物語』を書いた紫式部の夫や娘も太宰府を訪れています。また、九州が大陸の軍勢の攻撃を受けた「万葉の人説」では、太宰府の藤原隆家が襲撃されています。

こうした縁から、本市では令和改元5年を記念した令和文化会館事業として、紫式部を主人公としてNHKで放送中の大河ドラマ「光る君へ」の関連イベントを開催します。

だざいふとの関わり



▲九州の僧を統括する大寺だった観世音寺

『源氏物語』の主人公・光源氏の親友である藤中將には、玉鬘という娘がいました。母の死後、幼い玉鬘は乳母一家と太宰府で暮らします。のちに奈良の長谷寺を参詣したとき、田舎者ぶりを笑われた乳母は怒って、「大宰大式」の妻が観世音寺を参詣したときは、天皇のお出ましにも劣らない盛大さだったと太宰府の繁栄ぶりを語ります(第22帖玉鬘)。

ここで紫式部は「清水の御寺観世音寺」と書いています。観世音寺は九州の僧を統括する大寺で、境内の名水も都に知られる名所だったのです。江戸時代には、この名水を後世に伝えるために清水配所という顕彰碑が建てられ、現在も境内に残っています。

源氏物語ゆかりの地

大河ドラマ「光る君へ」企画展示 in だざいふ

大河ドラマ「光る君へ」に登場する衣装や小道具を展示します。

期 間 11月25日(水)～12月25日(木)
※雨天決行・天候により12月25日は休館
時 間 午前10時～午後6時
※12月25日は午後3時まで
場 所 太宰府館2階
住所：〒819-0203
アクセス：西鉄太宰府駅から徒歩5分
料 金 無料
主 催 太宰府市
注 意 事項 太宰府館には駐車場がありません。
公共交通機関で来館してください。



問い合わせ 文化財課 保護活用係 ☎内線473 ページID: 36637

ホームページアドレス <https://www.city.dazaiu.lk.jp/>

太宰府市の広報に紫式部と太宰府の関係が載っていたので送ります。

11月23日には吉高由里子と流星涼(藤原隆家)の二人が来て太宰府市内でトークショーが開催される。

平安文化があるのは京都の他は太宰府だと思う。

編者：大宰府と言えば、菅原道真くらいしか思い浮かばなかったが、

確かに大宰府には「平安文化」があるな。

勉強になるよ。また 大宰府の便りを寄こしてくれ！

[ページトップへ](#)

第 2 0 便

朔君からのお知らせ: 写真展

今まで増田君の写真展のお知らせをしてきたが、今回は朔君の写真展のお知らせです。

第八回 OM SYSTEM ズイコークラブ 福岡支部 写真展

OM SYSTEM ズイコークラブ福岡支部の
 写真展を下記の通り開催いたします。
 何卒、ご高臨いただきますよう
 ご案内申し上げます



巡礼にも似たり

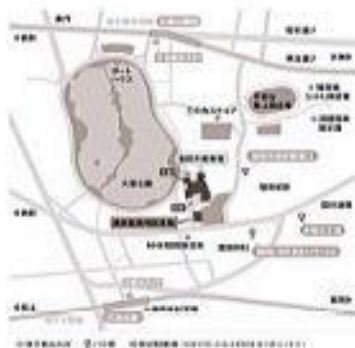


朝一番の訪問者

記

- ◆期 間 令和6年8月27日(火)～9月1日(日)
 9:30～17:30(火曜日～木曜日)
 9:30～20:30(金曜日、土曜日)
 9:30～17:30(日曜日)
 ＊入館は閉館の30分前まで
- ◆会 場 福岡市美術館 (ギャラリーE)
 福岡県福岡市中央区大濠公園1-6
- ◆問い合わせ先
 OM SYSTEM ズイコークラブ支部 (福岡支部)
<https://photo1ife.jp/omsystem.com/prmium/>
https://note.com/omsystem_events/n/n87ee5efca399

POST CARD



(差出人) 朔 敬

担当：

8月28日水曜日午後1時～5時

8月29日木曜日午後1時～5時

福岡の同級生は、是非見に行って感想をお知らせ下さい。

[ページトップへ](#)

第 18 便

21回生 大活躍！ 青木さん(卓球)

凄いニュースが飛び込んで来た！ 田所さん、帰福中の福島君からの報告

卓球の全国大会が福岡であり、昨日 7 月 5 日は歩こう会の日でしたが、和歌山の青木（大串）順子さんの

卓球（ラージボール）の全国大会応援に 5 人で駆けつけました でも試合終了後にはダッシュで、他メンバー達の歩いた後の歩こう会、食事会に間に合う、という離れ業 忙しく賑やかな一日でした 東区の埋立地、高層マンション地域、照葉の杜で全国大会が行われました。

青木さんは今までにも全国大会での優勝を経験しています 昨年の大会ではダブルスで準優勝、今年は優勝狙い、大会の第二シードチームです。

初めの 3 戦では、福岡大野城の高田さんの奥さんも出場して、対戦しています。

勝ち進んでコートを交代して、決勝の一つ前の決戦で強豪の熊本チームに惜しくも敗退しました。

合間に少し話は出来たのですが、青木さんも疲れていて、午後のシングルには出場を辞退する、と言っていました。

試合後には大会の入口に出てきてくれ、一緒に写真を撮ることが出来ました。

たくさんのお出場者がいましたが、青木さんのプレーは素早く、よけこんなに動けるなあ、と感心しました。

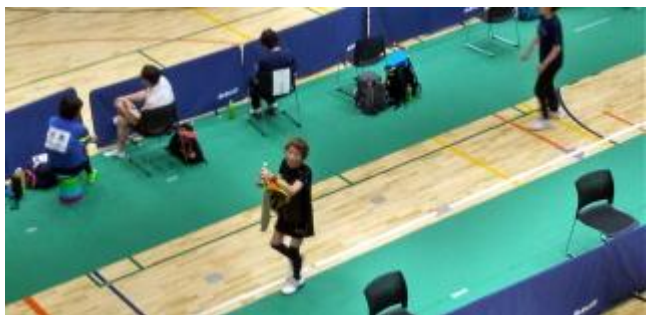
サーブ、レシーブ、速球、変化球、フェイント、など繊細で豪快でしたよ。いいもん見させて頂きました。



手前左側、



青木さん達、軽く 2 回戦突破です。高田君の奥さんに勝ちました。



残念ながら、3 回戦で熊本のサウスポーの曲者おばちゃんのサーブに負けてしまった。

残念。終わって少し青木さんと話が出来ました。



応援団のコメント

- ・お疲れさまでした。70 歳を過ぎてあの元気は刺激になりますね。恐れ入りました！
- ・今日は、おつかれ様です。貴重な体験ができました。青木さんのすごさに感動しました。
- ・お疲れ様でした。最後まで行けなくて残念。また来年の目標が出来ましたね。

卓球人生の集大成に頑張ってください。

- ・帰ったらシッカリ日焼けしてたよ。少しヒリヒリ。あまり歩いてなくても 35 度は厳しい暑さだったね。

青木さんは：

和歌山県橋本市在住、大きな学習塾で、WiLL 学習塾（英語教室）、英会話と留学コース
毎年留学生をオーストラリアに引率してるようですよ

青木さんのコメント：

予定通りには行かなくて もう来年の話になっています！まず第一試合で1セット振り回されたのは驚きました！

セットオールでは最後まで気が抜けなかった！予選突破出来てホッとしました。トーナメント第一試合の

熊本男性がかなりのスキルに驚きました！混合は男性同士の腕上下でほぼ決まります。決勝戦を見て球は打たないといけないけど コースや強弱 フェイントで相手を振り回すやり方もあります！1回1回が学びです。

皆さんの応援があったので 苦しさを乗り越えられました！ありがとうございました。

編者：いや～～言葉が出ん！！凄か～～！の一言！

来年も元気で活躍してね！

田所さん：昼前に試合が終わったので、青木さんを残して西新の歩こう会到着地、博多海鮮市場、に直行、

誰よりも先に到着しました。長い一日でしたが、非日常な空間でした。

青木さんありがとう、そしてお疲れ様でした(^^)、また会いましょう♪

[ページトップへ](#)

第15便

筑紫丘同窓会定期総会

お知らせのコラムでも連絡しましたが

筑紫丘同窓会定期総会が、以下のように開催されました。

本人と、兄、妹、娘、孫娘も筑高生の中村純治君からの報告を掲載します。

編：写真もたくさん撮ったらしいが、SNS などでの発信は禁止されて

いるらしいので、ここでは掲載しません。

日時 | 2024 年 6 月 1 日 (土)

総会 15:30~16:00

懇親会 16:00~19:00 (予定)

場所 | 福岡国際会議場 2 階 多目的ホール (福岡市博多区石城町 2-1)

2024 年 6 月 1 日 (土) に同窓会の令和 6 年度定期総会及び懇親会が福岡国際会議場で開催されました。

今年の年幹事は高 47 回生でした。

司会は四位 TNC アナウンサー (高 58) で、挨拶は渡邊校長と原田同窓会会長 (高 20) に続き 3 年後に予定されている 100 周年記念事業実行委員会会長森田一義 (高 16) 先輩の挨拶で始まりました。懇親会もアニメ作曲家で有名な高木さん (高 47) と森田一義さんの対談や応援団 OB の演舞、筑高体操など素晴らしい企画で構成されていました。

出席者は高 2 回生から高 76 回生迄の総計 807 名でした。

21 回生は服部君 (同窓会総会幹事) と私だけで、少しばかり寂しかったです。

でも良かったのは 21 回生だけの同窓会では得られない年代を越えた方々とのお話や繋がりが出来たことです。

写真は総会終了後に渡された「特別号外」の一部です。私もしっかり左端に写っています。

この企画には脱帽です。そして、今後の同窓会定期総会で少しでも多くの 21 回生とお会いできることを期待しております。



タモリ（森田先輩）も出席され、総勢807名とは、凄いな。

筑紫丘の伝統の一部に21回生も入っている事が、誇らしい。

3年後の「100周年」には、出て見たいな。多くの21回生が参加出来れば

良いな。中村君報告ありがとう。

以上 報告でした。

[ページトップへ](#)

第8便

なぜ「福岡市」は都市として勢いが残っているのか

3月19日のYahoo に載っていた記事です。

面白かったので、紹介します。

人口減少日本で何が起こるのか——。意外なことに、多くの人がこの問題について、本当の意味で理解していない。そして、どう変わればいいのか、明確な答えを持っていない。

若者が集う活気あふれる福岡市は、市街地に人口が密集せざるを得なかった土地の事情が作り上げた。

近隣の都市からどこまで人を吸い上げるか？

女性人気の高い「レディース・シティ」

九州の中心地であり、アジアのゲートウェイとして早くから海外展開を見据えて発展してきた福岡市は、

158万2695人(2019年4月1日現在)の人口を誇る。

同市がまとめた推計人口では、神戸市を抜いて政令指定都市ランキングで5位(2018年12月1日現在)になったが、

人口減少に悩む自治体が増えてきた現状にあって、いまだ力強い発展を感じさせる街である。

総務省の「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(2018年1月1日現在)によれば、この1年間で福岡市の人口は1万4116人増と、全国の市区町村の中で一番増えた。その内訳は自然増が神奈川県川崎市に次ぐ全国2位の2507人、社会増も大阪市に次ぐ2位の1万1609人であった。

福岡市内を歩くと若い女性の姿が目につく。その証拠に、福岡市の資料「子どもに関するデータ集」には20代、30代とも全国平均では男性人口が女性人口を上回っているが、福岡市では逆に女性人口が大きく上回るとある。例えば、25～29歳は男性46.4%、女性53.6%だ。福岡市は東京と並ぶ女性人気の高い街、「レディース・シティ」なのだ。

そもそも若者自体が多く、2015年の国勢調査の比較では、福岡市の若者率(15～29歳人口÷総人口×100)は17.4%で、政令指定都市の中でトップをマークしている。若者が多ければ、当然ながら生まれてくる子供も多くなる。子供が生まれることによって世代交代は進み、一方で他の市区町村から多くの人々が集まってくるのだから、都市の発展としては健全なスタイルを実現し続けているといえよう。

全国の多くの自治体で人口に翳りが見られる中、なぜ福岡市には都市としての勢いが残っているのだろうか？

「暮らしやすい」「子育てしやすい」という評価の高さもある。大学がたくさん存在し、学生が多いことも理由のひとつであろう。「子どもに関するデータ集」によれば、学生数は11万726人(2016年5月1日現在)で、政令指定都市の中では京都市、名古屋市に次いで3番目。1000人あたりの学生数にすると71.50人で京都市に次ぐ2位だ。

しかしながら、最も大きな要素は、人口規模の割に市街地に人口が密集している点にある。狭い区画の中に行政機関から商業施設までがまとまっているため、実際の人口以上に人の多さを感じやすい。要するに、「賑わい」を創出しやすいのである。

福岡市のコンパクトさの象徴といえば、空港の立地であろう。各都市が航空機のジェット化に合わせて郊外に空港を移転させたのに対し、福岡空港は市街地の中に残った。福岡空港を利用したことのある人ならば分かると思うが、離発着の際に眼下に広がる街並みはさながらジオラマのようであり、遊覧飛行をしているような気分さえなる。

しかも空港とJR博多駅は地下鉄でわずか5分、さらには最大の繁華街である天神とも約11分で結ばれている。

「通勤に30分もかかるようでは遠い」といわれるほど職場と自宅が近く、マイカーはもちろん公共交通機関や徒歩での移動もしやすいため、これらが働きやすさにつながっている面もある。これからの人口減少時代に求められてくるコンパクトシティを、大都市でありながら一足早く実現しているのである。

現在の福岡市の人口増加を支える「密集」は、実は副産物として誕生したものだ。それも“かつての弱み”が転じた結果であるというのだから皮肉である。

いまから40年ほど前、高度経済成長期を経験して豊かになり、「一億総中流」と自信を深めていた日本人が衝撃を受けた出来事があった。1979年に欧州共同体(EC)がまとめた内部資料『対日経済戦略報告書』に、「日本人は、西欧人ならばウサギ小屋としか思えないようなところに住む仕事中毒者」などと書かれていたのである。

「ウサギ小屋」という言葉は、日本人を“中流気取り”から目覚めさせるのに十分であった。サラリーマンたちは“脱ウサギ小屋”とばかりに、金額的に手の届く郊外へと住宅地を求めた。結果として、日本の各都市は人口増加のペースを無視した乱開発にのめり込み、街の規模が急速に膨張し始めたのである。

しかし、都市の拡大が続いていった時代にあっても、福岡市は郊外開発に乗り出さなかった。というよりも、乗り出せなかったといったほうが正しい。というのも、福岡市は全国の大都市の中では異例なのだが、大きな河川がなく、水不足に悩まされていたのだ。安定供給のために住宅地開発をむしろ制限せざるを得なかったのである。

水不足は製造業の進出も阻んだ。企業は福岡市ではなく、隣の北九州市へと流れ、北九州市が 100 万都市に急拡大する様をただ眺めているしかなかった。ところが、大規模工場がないことが幸いした。他の政令指定都市が公害対策に頭を悩ませている中、予算を商業の発展や国際化に向けることができたのだ。時代は変わり、環境保全や少子高齢化対策が大都市の中心課題となった現在、福岡市は大きなインセンティブを手に入れているのである。

この間、製造業の多くは安い人件費を求めて海外に工場を移転したが、そうした動きと歩調を合わせて人口が減少したのが北九州市だ。何が将来の明暗を分けるか分からない。

編者：我々が高校時代だった50年以上も前は、水不足も有ったし、工場と言う点においては八幡製鉄があった北九州の生まれの私にとっては、福岡は工場の無い、「都会」だった。それに記事にあるように、通勤・通学に30分以上かける、なんて言う「なんぼ しとと？」と言われそうで、今でも1時間以上かける場合は少ないと思える。大きくは取り上げられてないが、古来 福岡（博多）は国際交流都市であって、その余韻は今でも色濃く残っていると思う。記事を教えてくれた21回生も、納得させられた、と感想を寄こした。

皆さんは、どう思うか？

[ページトップへ](#)

第4便

2024年 牡蠣小屋

飯田眞理さんが、ご主人の是非牡蠣小屋に行ってみたいというご希望で、帰郷し、田所さんを始め故郷の仲間がご夫妻を牡蠣小屋で歓待した。





辰年の新年早速、糸島岐志漁港の牡蠣小屋大栄丸に行ってきました。天気も気持ちがいよいよ快晴です。

帰福中の飯田夫妻、松浦、本吉、稲永、森實、関家4人、田所、行實の12名参加です。このうち、なんと5人が1年のとき4組の長沢先生のクラスでした。

新鮮な、牡蠣焼、サザエのつぼ焼きなどお腹がくちくなるほど食べ、アルコールも持ち込みで、シャンパン、ワイン、ビールと痛飲しました。

関家の次男さんが、新妻さんと一緒に参加され、関家の益々の発展を祈念した新年の楽しい催しとなりました。

行實



前列左から関、本吉、関次男の新妻あやかさん、後列左から 関奥さま、次男ひろたか君、田所、行實、森實、松浦（広島から）、稲永、飯田眞里、飯田ご主人、です

なんと、この後二次会、三次会あり、最後は大取酒店に
牡蠣小屋に来てない小西さんと二次会から合流



最後の写真は二次会の水炊き会場

いや～～こうやって故郷に帰った仲間を、このように歓待してくれるとは

(実は自分たちも集まって食って飲みたかったのかも：笑)。

故郷は良いもんだ！来年は私も絶対牡蠣小屋に参加するぞ。

[ページトップへ](#)

2023

第 9 便

増田君 写真受賞

増田君の写真が またまた 2 つの展覧会で受賞した。ここに紹介する。

筆者も見に行ってきた。

JPS 展 東京都写真美術館 優秀賞



どれも 小雨に煙る「自然な瞬間」の切り取り方が素晴らしい



筆者の腹が出てるごとと写とるばってん、違うとよ。

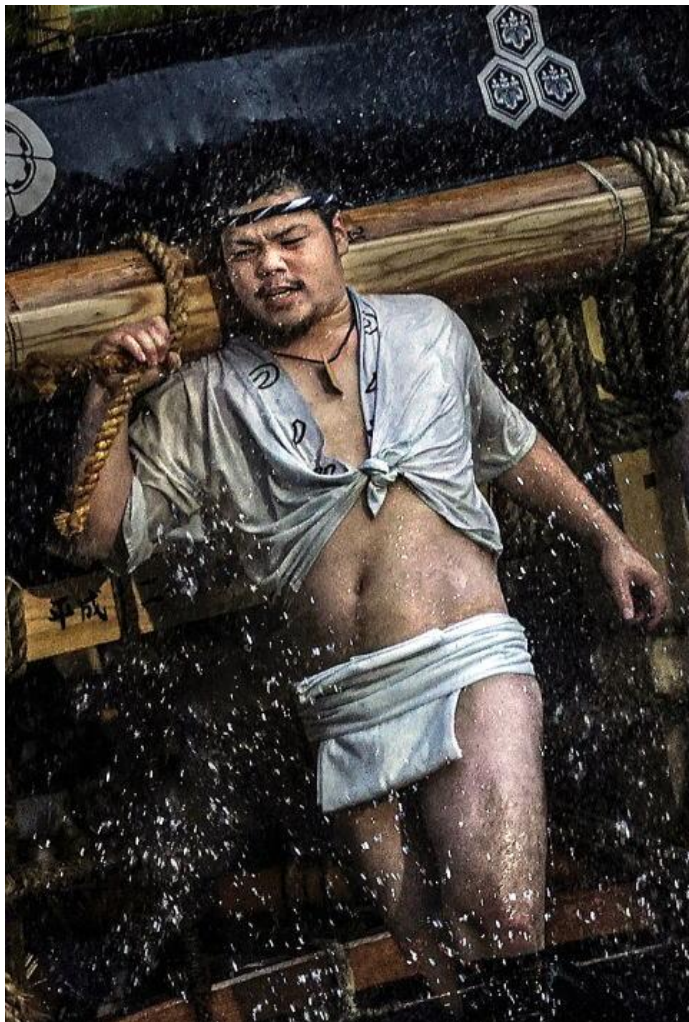
実はちょっと腰が痛かけん、腰にコルセットを付けとると。

それで腹が出とるごとと見えるったい。誤解せんように。

第 69 回 全国写真展覧会 全国展 フォトコンテスト発表展

上野 東京都美術館

準特選 「気合を入れる」



躍動感と迫力が伝わってくる。

入選 「お食い初め」



お孫さんらしいが、お孫さんの目と、鯛の目 両方が 見ている人を凝視している。

久し振りに増田君に会って、写真の話などして楽しかった。益々腕を磨いて

沢山の写真展に入賞して欲しいな。次回も期待します。

[ページトップへ](#)

第 7 便

木村君 書道展

先々週、木村（政信：3 年 7 組）君が

福岡市美術館で開かれた一墨会（書道展）の展覧会に二点出品していたとの

報が入り、写真を送って来たので掲載します。



編：同級生が元気に頑張っている様子は、見ていて嬉しいね。

木村君、これからも頑張ってくれ！

また作品発表したら、送って下さい。

第5便

増田君の写真展と久しぶりの邂逅

報告：棚田

増田君から APA(日本の広告写真展) に入選したとの報告があった。



入賞写真は、筑紫丘の体育祭の1シーンで「ハプニング」

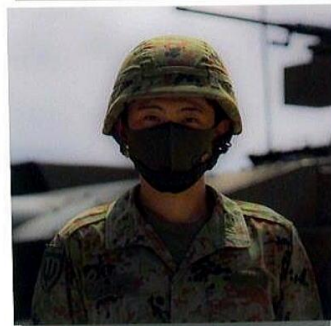
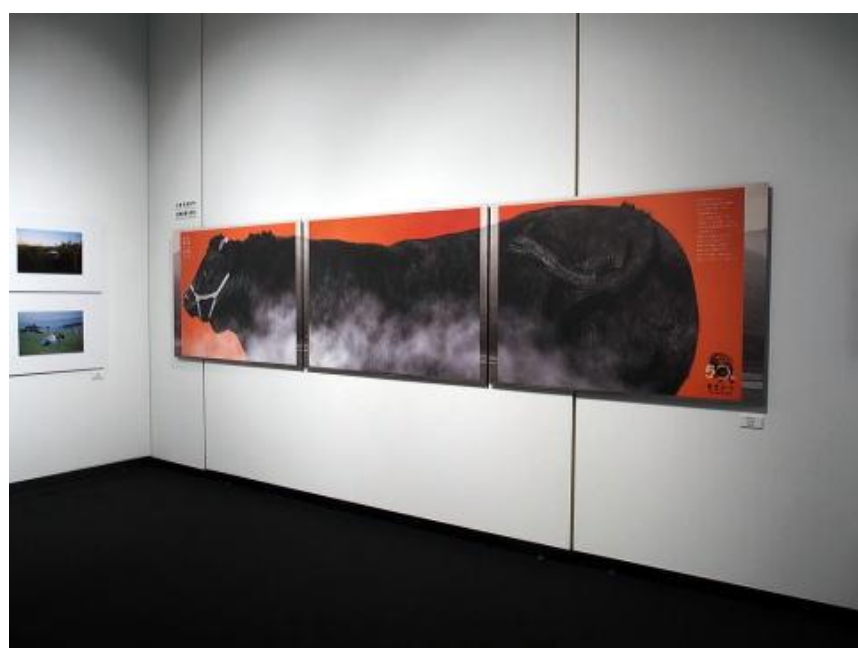


増田君が招待券を送ってくれたので、メンバーを募り、3月1日に東京写真美術館（恵比寿）に7人で実物を見に行った。メンバーは 飯田眞理さん、飯田廣美さん、脇さん、河合さん、添田君、高本君、と私。

久しぶりの集まりだったので、集合場所から写真館まで、色々と積もる話が花咲いた。

増田君の写真は、正に一瞬のハプニングを切り取った、しかも懐かしい筑高の運動場なので、皆で見入ってしまった。小さいけど、テントには筑高の高章が見える。背景がどの辺か変わってしまったので分からない。でも懐かしい。

色々な写真が有ったが、中でも私が目についた2点は、



左は特賞の「牛」 右は おそらく福岡の人の作品だと思うが、上から福岡市消防局、福岡県警、第4師団？（春日原？）の隊員の、社会を守る使命感に燃えた目。

見終わっての昼食は、飯田眞理さんが見つけて予約してくれた、イタリア料理店

メニューは 以下で 一人 2, 8 0 0 円（ワイン付き）

Appetizer 前菜 3 種盛り合わせと香味野菜サラダ

Bread 自家製フォカッチャ（おかわりできます）

Pasta 下記パスタ 4 種からお選び頂けます。

（例） ・ 浅草開花楼の低加水パスタを使用した 月替わりのおすすめパスタ

・ 九条ネギと鶏胸肉の和風ソース・イベリコベーコンのカルボナーラ

・ 茄子のトマトソース

Main 下記メイン 2 種からお選び頂けます。

※季節のお魚料理は食材によってソース内容が変わります。

・ 本日のお魚料理 季節野菜添え

・ 三元豚のロースト フレッシュサルサソース

Dolce 本日のドルチェ

食後のコーヒーまたは選べるマイティリーフティー

個室で、9 0 分の制限時間を 2 時間にしてくれたので、世相、政治、戦争、兎に角

久し振りで、話したい事が一杯あるので、2 時間はあっという間に過ぎてしまった。

私も、話に夢中で料理の写真を撮るのを忘れてしまった。しかし美味しかった。



終わって、皆でまたそれぞれ話しながら、恵比寿駅の方へ歩いて、駅近くに来て誰かが
「もう これで帰ると？」

それならと駅の周辺で喫茶店を探したが、どこも一杯。目敏い添田君が、なんとビアホール
を見つけてくれた。実は最初のレストランを探しあぐねていた時も、見つけてくれたのは
添田君だった。皆でビアホールの個室へ（幸運だった）。男性と一部の女性はビール、
お腹が一杯だったので、おつまみ少々で、またまた3時間近く話しまくった。

次から次へと全く話が尽きない。次回は昨年まで出来なかった屋形船や外での
バーベキューを是非実現させようと盛り上がった。本当に楽しい一日だった。

後日河合さんから、「今になって思うけど、本当に筑高に行って良かった」との感想を
貰い、しみじみと同級生の良さを痛感した。

これで、話は終わりではない。実は前日増田君から、別の写真展で特賞を取ったという連絡をもらっていた。メンバーにも帰宅してから、その写真展の情報を送った。

先ずはその写真展の情報：

「日本で最も美しい村」フォトコンテスト2022 特賞



秋色の午後

増田 俊次

撮影場所：熊本県高森町

その他の作品は 以下をクリック

<https://utsukushii-mura.jp/photocontest/2022/>

メンバーからの返信では、

①増田さんの作品、一瞬をとらえた素最も晴らしいものでしたね。「日本で最も美しい村」の方が、

身近に感じられます。東京で展覧会が開かれるなら、是非見に行きたいと思います。

②彼の作品は本当に素晴らしい。あのような才能の人と同級生というのは、誇らしい !!

③増田君の作品の方がグランプリに相応しいと思う。私を審査員に！！

④増田さんの作品は「人への愛」がテーマかな(glittering) 入選作ご紹介ありがと

等々、多くの賛美が届いた。このフォトコンテスの入選作は、自然でどれも素晴らしい。

写真展が東京であれば、私も是非見に行きたいと思う。

故郷の歩こう会にも負けられないように、こちらでも今年中のイベントを幹事が企画してくれると思う。待ちどおしい。

以上 東京での楽しい一日の報告でした。同級生って いいな！！！！

[ページトップへ](#)

第3便

21回生忘年会(令和4年12月2日17時 福岡開催)追加写真

2022年最後の 今を生きるで報じた21回生福岡忘年会の追加の写真を増田君が送ってくれた。誰だか判別がつかない人も写っているが、兎に角写真だけを下記に掲載します。







やはり、同窓会は楽しい！

今年は、コロナになんの気兼ねなく、こうやって皆が集える日々が来ればよいと切に願います。

[ページトップへ](#)

第2便

2023年 牡蠣小屋

コロナも少し下火になって来た感があり、故郷では、久し振りの「牡蠣小屋ツアー」

が2月4日（土）に行われた。

ちょうど帰福していた高本君、安永君も参加して行われた。今までの小屋ではなく、

新しい小屋での牡蠣を始め海鮮、持ち込みの酒を堪能したようだ。

10名参加だが、一人田所さんの外部のお友達（皆も知っている女性）が加わっているが、

写真掲載不可と言う事で、下記の写真からは彼女の部分だけ消去した（笑）

以下その報告（田所さん）

土曜日は総勢10名で3年ぶりに盛り上がりました(^o^)

写真では案外、密に見えるけど、写真のときに寄っただけよ～（ハイハイ！）

持ち寄りが日本酒に集中したけど、牡蠣にはワイン、とワイン持参も。でもビールと日本酒の後は何を飲んだか覚えてない。（どんだけ飲んだとね??うらやましか!）

牡蠣もホタテもイカも、ウェルダン以上に焼きたい安永さんと、

もう食べ頃、と勧める稲永さんが終始バトっていた。

（うんうん、それぞれ蒔蓄を持っている筑高生にはありがちな事たい、よかよか!）

コロナもあり、暫く中断していた牡蠣食べ、皆さん充分堪能出来たかな？

牡蠣小屋を変えたため、持ち帰り牡蠣めしが無かったのがひとつ心残りです。

二次会に同方向帰宅の7人は高宮のチャプターⅢでしばし歓談しました。（分かる分かる、、）

高本さんと高田さんは高田さんの車で直帰したので二次会には参加せず。

以下その様子。写真の名前掲載は敬称略。





高田、安永、高木、行實、田所、本吉、高本、手前から 稲永、森実



高本、安永、行実、森実、本吉、田所、高木、稲永

いやいや、編者も本当に参加したかった。コロナ禍の逼塞の中で、皆が集まって、美味しい牡蠣と酒を

堪能できるとは、羨ましいと言うより、「悔しか～～！」

[ページトップへ](#)

でも皆の元気な姿には、こちらも元気をもらえるよ。報告ありがとう。